

平成 26 年度 第 1 回福井市行政改革推進委員会 会議概要

- 1 開催日時 平成 26 年 5 月 29 日（木） 9:00～10:40
- 2 開催場所 市役所本館 8 階 第 3 委員会室
- 3 出席者
- (1) 委員 南保勝 委員（委員長）、稲葉明美 委員、今村善信 委員、岡山宇太郎 委員、
奥村清治 委員、黒川俊枝 委員、澁谷政子 委員、田村洋子 委員
※内山秀樹 委員（副委員長）、齋藤万世 委員は欠席
- (2) 事務局 総合政策室
- 4 会議次第
- ・ 開会（市民憲章唱和）
 - ・ 協議 (1) 委員長及び副委員長の選出について
(2) 「福井市行財政改革指針」平成 25 年度取組報告及び平成 26 年度取組計画について
(3) 平成 26 年度外部点検の実施について
(4) 「福井市行財政改革指針」の改訂について
 - ・ 閉会
- 5 協議の概要

	<p>協議事項 (1) 委員長及び副委員長の選出について</p> <p>委員長に南保勝委員を、副委員長に内山秀樹委員を選出</p> <p>協議事項 (2) 「福井市行財政改革指針」 平成 25 年度取組報告及び平成 26 年度取組計画について 資料 1</p>
委員長	<p>本日欠席の委員からコメントを預かっているので紹介する。</p> <p>まず、P. 17 「No.19-2 地区計画の推進」が遅延で、P. 16 「No.19-1②③」が順調となっている違いがよくわからないというものと、同じく P. 17 「No.21 行政情報のわかりやすい提供」について、題目と実績がそぐわない、実際の情報提供がわかりやすいかどうかを外部から評価すべきであるという、意見を紹介したい。後者は、ワンストップサービスにも言及した意見。</p>
事務局	<p>No.19-2 については、グループ数、地区計画策定数の 2 項目で計画の目標値に届かなかったために遅延としている。今後も目標を持って進めていく。</p> <p>また、No.21 については、職員の技術の習得と習熟という問題もさることながら、ワンストップサービスの実現には、端末やシステム改修等ハードの問題もかかわってくる。福井市では現在、接客について、おもてなし向上運動に取り組んでおり、当たり前のことではあるが、あいさつから始めていろんな部分でレベルアップを</p>

	<p>図りたい。</p>
委員	<p>平成 25 年度外部点検で取り上げた事業、例えば「学校図書館支援員事業」や「里川づくり推進事業」については、取組報告として上がってこないのか。</p>
事務局	<p>P.2「No.1-2 事務事業点検の実施」の一環である外部点検で実施したため、1つ1つの取組としては表れない。</p>
委員	<p>最終的なゴールがどこかということが評価の基準となる。最終的にどうなったら終了で、経営資源を他にまわすことができるかという部分がわかりづらい。</p> <p>実施した事をもって順調となっている事業も、取組んだことで何かが変わったということが成果として捉えられるのではないか。</p>
事務局	<p>行政改革そのものがどこまでやれば終わりというものではない部分もある。</p> <p>5年間の計画の中で数値目標を設定できるものはしたが、ゴールが見える事業だけではないこともあり、数値で表せない部分もある。</p> <p>数値で表せる部分については、来年度以降の改訂指針で取り入れたい。</p>
委員	<p>公益活動、公共的な事業には限度がない。全地区、全員を対象とすることも多い。より大きな問題が発生し対応しなければならなくなることもある。</p> <p>公益、公共であっても、どこかでやめたり終わるタイミングを設定しないと、事業数が増えるだけ。</p>
事務局	<p>外部点検では、そのような視点で指摘いただいた部分もあるし、逆にもっと充実をと応援をいただいたということも聞いている。</p>
委員長	<p>評価は難しい。視点も客観主観、絶対相対とあり、レベルも高くするか低くするか。どこまで評価できるかという可能性の面もある。</p> <p>行政も事業をスクラップアンドビルドすべき時期に来ているかも知れない。住民ニーズの高いところにシフトすることも考えていかねば。実施するほうも評価するほうもメリハリは必要。</p>
委員	<p>「No.18-2 まち美化パートナー制度の推進」の項目が3つに分かれている。担当課が違うからと理解はできるが、一緒にやっていることは1つにできないか。</p>
事務局	<p>取りまとめ方が行政の視点になっていた。事業は1つ。</p>
委員	<p>担当、団体の連携が活性化につながる。地縁があっても団体の立ち上げは大変。交流、連携が活動の芽の出る機会になる。離れていたものをつなぐリンクといった視点も行政改革につながるのでは。</p>

委員長	<p>縦割りを見直すときが来たのかもしれない。事務事業1個1個ではなく、もっと広く、例えば市民サービスはどうかとか、産業政策はどうかとかいった切り口を視点に持ってくれば、われわれとしては評価しやすいかもしれない。</p> <p>協議事項（3）平成26年度外部点検の実施について 資料2</p>
委員長	<p>昨年と大きく変わったところはあるか。</p>
事務局	<p>変更点は、点検対象とする業務の選び方について。福井市第六次総合計画の施策体系61から約20ずつ選んで3カ年で点検していただくこととした。</p>
委員	<p>各委員が30事業から5つ6つを選んで投票する仕組みであったと思う。資料はできるだけ早くいただき、前もって内容を知りたい。</p> <p>また、当日の事業説明は所属長に限らず、担当者等熟知した人にしてほしい。</p>
委員長	<p>担当者が熱意を持っていると、事業への理解が深まり、評価に影響することもある。説明者はよくわかった人がいい。</p>
事務局	<p>意見のとおりとしたい。</p>
委員	<p>点検対象事業は引き続き市民を対象とした事業ということだが、予算規模については、昨年度同様、あまり大きなものではないと考えればよいか。</p> <p>また、先ほどの協議事項で、資料1P.10「No.13 組織体制の見直し」を読んで、部局横断的課題に内部で取組んでいることを知った。このような取組がどのように広報されているのか評価してみたいと感じた。市民への告知、還元という点で、縦割りから横のつながりに変化していることを伝えないのは損。</p>
事務局	<p>規模については昨年度同様。そういう事業も含め、多めに提案して選んでいただく。</p>
委員	<p>事業に様々な工夫を凝らしたり、熱意を持って取組む職員への市民評価は大切だと思う。市民とのかかわりの部分を評価してみたい。職員のモチベーション向上につながるような事業も入れてほしい。</p>
委員長	<p>資料1P.10「No.18-1 ミーティングテーブル事業」は市民－行政の協働だが、行政－行政の協働もあってもいいのかなと感じた。</p>
事務局	<p>意見を考慮しながら、点検対象事業候補を提案したい。61施策を3年で点検する関係上、26年度に限らず、27年度、28年度で点検いただくことになるかもしれない。</p>

委員	<p>予算への反映があるということで、この事業にもうちょっと多く予算がほしいといった所属からの手上げはあるか。</p>
事務局	<p>行政内部で事業を選定していく過程で、各所属には PR の場、市民の意見を聞く場として積極的に活用してほしいとお知らせはしている。反応は控え目。</p>
委員	<p>もっと積極的に行政の事業をアピールしてほしいと思う。</p>
事務局	<p>いわゆる事業仕分けではない。事業を知っていただくことで、委員にも事業を応援いただけるという趣旨は職員にも浸透してきた。</p>
	<p>協議事項（4）「福井市行財政改革指針」の改訂について 資料3</p>
委員	<p>改訂方針（案）を拝見すると、外部環境が要因となっている。内部から変えていこうという視点がないのは物足りない印象がある。</p>
事務局	<p>内部の問題は今後入れていきたい。</p>
委員	<p>今、内部がどうなっているという分析は必要。</p>
委員長	<p>リアリティーが出るので検討してほしい。</p>
委員	<p>指針の改訂は行政改革推進本部会議で決定するということだが、議決は必要か。</p>
事務局	<p>議決事項ではない。議会に報告はする。</p>
	<p>協議事項（5）その他 資料4</p>
事務局	<p>第2回の日程について7月16日（水）10時から12時まででお願いしたい。</p>
委員長	<p>これで協議を終了する。</p>